

日英同盟（日英博覧会絵ハガキ）



* 雨村家文書342「日英博覧会
記念 絵葉書」

解説

日英同盟は、日本とイギリスとの軍事同盟で、1902（明治35）年1月30日に調印されました。これは、ロシアの極東における勢力拡大に対して、イギリスの援助を得て対韓国、対中国政策を有利に進めたい日本と、アジアでの対露戦略に日本を利用したいイギリスの利害関係が一致したことによるものでした。

左の写真は1910（明治43）年5月ロンドンで行われた「日英博覧会」の記念の絵ハガキです。この博覧会は日英両国民の親善と貿易の発展を目的として開催されたもので、日英両国の国旗が並んで描かれ、その上部に博覧会の名誉総裁に就任した日本側の伏見宮貞愛親王、英国側のコンノート親王の姿が見えます。



* 写真上は毛利家文庫 58絵図1149 「日英博覧会図」で、日英博覧会に際して、「Princess Mohri（毛利）」に授与されたものです。日英双方の博覧会関係者の署名が見えます。画面右側に富士山をはじめ、五重の塔、着物姿の女性、流鏝馬装束の男性など、日本の連想図が描かれています。